



手作り豆腐のお味はいかが？

▶古月・剣北・西川小児童が豆腐のみそ汁作りに挑戦

大豆の種まきから始まった食育体験活動もいよいよ大詰め。2月中旬に、古月小学校、剣北小学校、西川小学校の3年生が各小学校で豆腐のみそ汁作りに挑戦しました。写真は、古月小学校の児童が大豆から豆乳を絞り、鍋で煮詰めているところです。

児童たちは、農業女性の会の皆さんから手順を教わりながら、大豆から豆腐を作ったり、大根やにんじん、油揚げなどのみそ汁の具材を包丁で切り分けたりしながら自分たちの手で豆腐のみそ汁を作り上げました。このみそ汁は、全校児童や先生たちにも振る舞われ、おいしいと評判だったようです。



大人も楽しいわらべ歌・手遊び

▶中央公民館で季節のわらべ歌・手遊び講座

2月10日、中央公民館で季節のわらべ歌・手遊び講座が行われました。この講座は、読み聞かせ等のボランティアをしている人やわらべ歌を聞かせてあげたい子ども・孫がいる人などを対象に行われたものです。絵本コンシェルジュとして日ごろから子どもと接している女性2人が講師となり、わらべ歌や手遊びを紹介すると、参加者たちは一緒に歌ったり手を動かしたりしながら「懐かしいね」「難しいけど子どもが喜んでくれそう」と童心に返って講座を楽しんでいるようでした。また、手遊びに使う猿やえんどう豆の人形作りも行われ、「良いお土産ができた」と喜ぶ声も聞かれました。

メディアの力で防災力の向上を

▶鞍手町とKBCが防災パートナーシップ協定を締結

2月6日、鞍手町とKBC（九州朝日放送株式会社）が「防災パートナーシップに関する協定」を締結しました。写真は協定書に署名し、握手を交わす岡崎町長とKBC和氣代表取締役社長です。

この協定により、災害発生時には、避難に関する情報等を町からKBCに直接知らせることができ、テレビやラジオを通して町民への情報発信がこれまで以上に速くなることが期待されます。また、平常時には、KBCが保有する災害に関する映像の提供を受けて、町が実施する訓練などにおいて活用することで、災害予防対策や地域防災力の強化を図ります。



すくすく日記

3月生まれ

Happy birthday to you.



こもりかれん 小森華怜ちゃん

平成29年3月22日生まれ

2歳のお誕生日おめでとう☆華怜のかわいい笑顔、大きな声、歌って踊る姿、動き回るところ、ぜ～んぶ大好きだよ!!叶夢お姉ちゃんとケンカしながらも仲良く一緒に、これからもみんなに愛される華怜でいてね♪♪(父 正義さん・母 愛美さん・中山)

お待ちしています

広報「すくすく日記」のコーナーでは、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。4月生まれは、3月11日(月)までに申し込んでください。申し込みや問い合わせは、役場政策推進課政策係 ☎42局2111番 (jouhou@town.kurate.lg.jp) まで。



直鞍のまちを颯爽と

▶第73回直鞍一周駅伝競走大会

1月27日、第73回直鞍一周駅伝競走大会が行われ、宮若市(マリーホール)からスタートし、小竹町、直方市、鞍手町を通って宮若市に戻る全長38kmのコースを、22チームの選手たちが駆け抜けました。鞍手町からは、鞍手北中陸上部OBの3チームとオープン参加の鞍手中陸上部OBの計4チームが出場しました。結果は以下のとおりです。選手の皆さんお疲れさまでした。

●順位(丸数字)とタイム

③鞍手北中陸上部OB(B) = 2時間05分38秒

⑪鞍手北中陸上部OB(A) = 2時間22分53秒

⑯鞍手北中陸上部OB(C) = 2時間32分27秒

[オープン参加] 鞍手中陸上部OB = 2時間19分01秒

●第6区(5.3km)区間賞

境 悠希(鞍手北中陸上部OB(B)) = 16分35秒

魅力あふれる6次化商品

▶花田農園が6次化商品コンクールで特別賞受賞

1次産業(農業)×2次産業(食品加工)×3次産業(流通・販売) = 6次産業。この取組みによって出来た加工品を6次化商品といいます。1月30日、ヒルトン福岡シーホークで、優れた6次化商品を表彰する福岡県6次化商品コンクール表彰式が行われ、株式会社花田農園(新延、代表・日高ゆかりさん)が自社で育てた野菜とじっくり煮込んだ自家製チキンパイオンを合わせたスープ「ひだまりとアンダンテ(ブロッコリー・かぼちゃ・トマト)」が農林漁業社部門特別賞を受賞しました。商品名には「スープを食べることで、暖かなひだまりの中で過ごすような、ホッとできる時間を過ごしてほしい」という思いが込められています。



日ごろの活動が評価され

▶鞍手町農業委員会・農業委員が表彰を受けました

鞍手町農業委員会では、情報提供活動の一環として全国農業新聞の普及活動に取り組んでいます。この度、その活動が評価され、1月25日に福岡国際会議場で行われた福岡県農業委員会研修大会において、優秀賞を受賞しました。今後も情報提供活動をはじめとし、農地利用の最適化を目指し、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進に努めていきます。



また、昨年7月に農業委員を退職された栗田幸則さん(中山)と松尾健一さん(八尋)には、多年にわたる農業委員としての活動の功績により、福岡県農業会議から長期在職者感謝状が贈られました。



火災から町の宝を守る

▶長谷寺で文化財防火訓練

毎年1月26日は、「文化財防火デー」。昭和24年の同日に法隆寺の金堂が炎上したことから、この日を文化財防火デーと定め、全国的に文化財の防火運動が展開されています。鞍手町でも毎年場所を変えながら防火運動を実施しており、今年は1月25日、長谷寺(国指定文化財・木造十一面観音立像)で、直鞍広域消防本部鞍手出張所による消火訓練が行われました。地域の文化財を見直し貴重な歴史遺産を火災から守る取り組みに、ご理解とご参加をお願いします。



町の人権擁護委員さん

▶人権擁護委員を加留部さんに委嘱

平成31年1月1日より、加留部君子さんが町の人権擁護委員に再任されました(5期目・任期3年)。

人権擁護委員は、地域の住民で人格や見識が高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある人を町長が推薦し、法務大臣が委嘱した人。町では、加留部さんを含む7人の人権擁護委員の皆さんが、日々、人権相談や人権啓発などを行っています。

